

佐藤 信三（さとう・しんぞう）

1、プロフィール

俳人。「暁星短歌会」入会。「北鈴」入会。「北鈴賞」受賞。「泉」・「林」入会。第1回「林」賞受賞。「たかんな」創刊同人。俳人協会会員。

<生没>

1924(大正 13)年 1 月 7 日 ~ 2003(平成 15)年 10 月 27 日

<代表作>

句集『夕辛夷』(角川書店)

<青森との関わり>

八戸市で少年期から過ごす。(株)デーリー東北新聞社の代表取締役社長等を歴任。俳人・歌人でもある。

2、作家解説

佐藤信三氏は、1924(大正 13)年 1 月 7 日に宮城県で生まれる。八戸市立小中野小学校卒業後、1938(昭和 13)年 3 月に尋常高等課卒業。1940(昭和 15)年 3 月に仙台逓信講習所卒業し、小中野郵便局事務員となる。1947(昭和 22)年 9 月に逓信事務官、翌年 3 月に小中野郵便局長となる。1951(昭和 26)年 3 月に労務運動で免官。同年 5 月に有限会社木村書店に入社。1954(昭和 29)年 4 月に(株)デーリー東北へ入社。1971(昭和 46)年 4 月に業務局長、1973(昭和 48)年 6 月に取締役広告局長、その後編集局長を務める。1979(昭和 54)年 5 月に常務取締役、1981(昭和 56)年 6 月に代表取締役専務、翌年 9 月に代表取締役社長に就任。5期 10 年務める。1993(平成 5)年 6 月に取締役相談役、2001(平成 13)年 6 月に退任。

18歳の時に斎藤茂吉の『赤光』に衝撃的な感銘を受けて、1943(昭和18)年に同年代の友人による「暁星短歌会」に入会。50歳まで短歌を実作する。

50代に入って俳句の世界に入ってゆく。八戸市在住の角川俳句賞受賞作家の村上しゅら氏や八戸俳句会機関誌「北鈴」編集長の上村忠郎氏等との交流で、俳句の魅力に惹かれてゆく。1976(昭和51)年に「北鈴」入会。村上しゅら氏の紹介で小林康治氏に師事し、1977(昭和52)年に小林康治氏主宰の「泉」に入会する。主宰が辞任、退会后、1980(昭和55)年に「林」創刊に参加。第1回「林賞」を受賞。1981(昭和56)年に「北鈴賞」受賞。1992(平成4)年に小林康治氏が急逝し、「林」が廃刊。1993(平成5)年1月に藤木俱子氏主宰の「たかなな」に創刊同人として参加。同人会会長。俳人協会会員。

2003(平成15)年10月27日、八戸市内の病院で死去。

3、資料紹介

○『夕辛夷』

1997(平成9)年8月10日

195mm×125mm

1976年から1996年に作句した392句を自選、収録している。「なにを得し取材手帳や夕辛夷」は北鈴20周年記念俳句大会で特別選者だった小林康治氏の特等第1席に選ばれ、句集名にした。「序」は人生の師として仰いだ書家の宇山博明氏である。